

チャーリー、こっちだよ

キャレン・レヴィス/さく チャールズ・サントソ/え BL出版

<だれでもほくしょう>では心や体に傷のある動物が安心して暮らしています。片目が見えない馬のチャーリーと、いつもひとりのヤギのジャックにいつしか交流が生まれ……。実話をもとにした友情の物語です。



はじめは たき火 火とくらしてきたわたしたち

まつむら ゆいこ/作 小林 マキ/絵 福音館書店

暑い夏、お家の中が涼しいのはなぜ？ 家族でお出かけ、車で遠くまで行けるのはどうして。夜、スイッチを入れても部屋が明るくならなかったら。大事なエネルギーのことを考えてみましょう。



としまかんの図書館からのお知らせ

「よんでみませんか」・「課題図書」は、読みたい人がたくさんいます。

「リクエストの本が用意できました」という連絡がきたら、早目に借りにきてください。

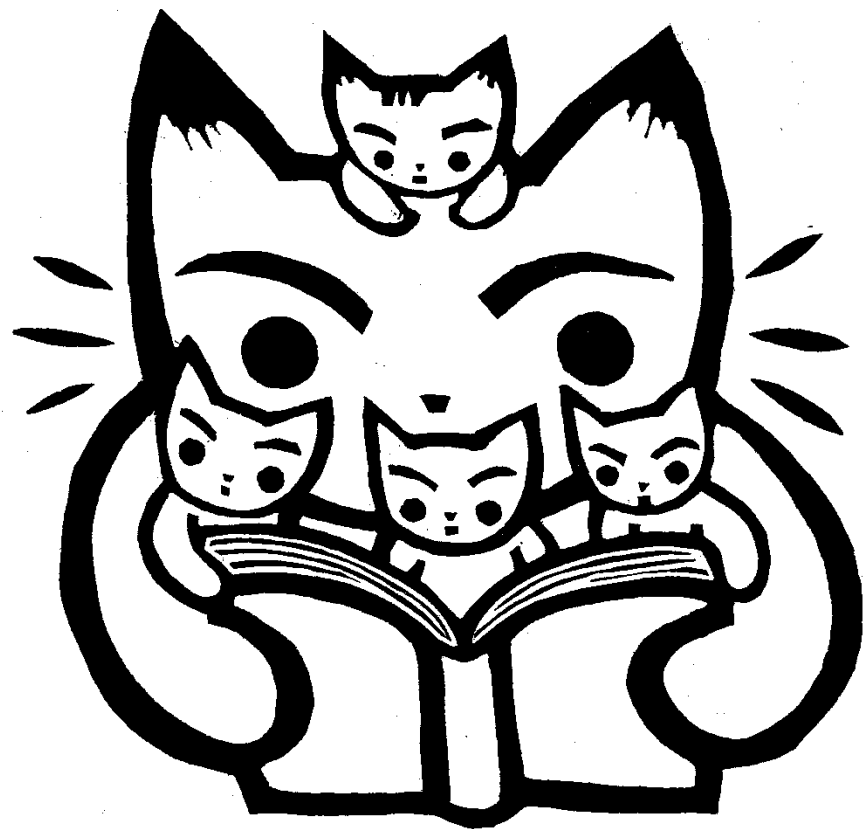


表紙と裏表紙 大野 隆司・版画

柏市立図書館

電話 04-7164-5346
<http://toshokan.city.kashiwa.lg.jp/>

よんでみませんか



3・4年生におすすめの本

2022年

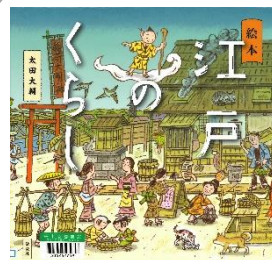
柏市立図書館



おう ひつじか 王さまになった羊飼いの昔話

松瀬 七織/再話 イ ヨンギョン/絵 福音館書店

貧しい羊飼いの男の子が、うさぎに食べ物を100日間あげ続けると、うさぎは神さまになり動物の言葉がわかる力をくれました。ある晩、男の子が眠っていると、なにやら話し声が聞こえてきます……。



絵本 江戸の暮らし

太田 大輔/作 講談社

江戸時代の人びとがどのような生活を送っていたのか、のぞいてみませんか？ 使っていた道具や、遊びなど、今の私たちの生活とはさまざまな違いがありそうです。



ロザリンドの庭

エルサ・ベスコフ/作 植垣 歩子/絵 あすなろ書房

おかあさんと二人で暮らす6歳の少年エリックは体が弱く、おかあさんが働きに出ている間は、毎日ベッドで過ごします。ある日、壁紙の花模様からロザリンドという少女が現れて……。



おかえり、ウミガメ

高久 至/写真・文 アリス館

ウミガメは、生後約20年の時を経て、産卵のために自分の生まれた砂浜に帰ってきます。しかし、さまざまな環境問題が原因で、彼らが安心して帰ってこられる砂浜のほとんどが失われています。



つるばら村のパン屋さん

茂市 久美子/作 中村 悦子/絵 講談社

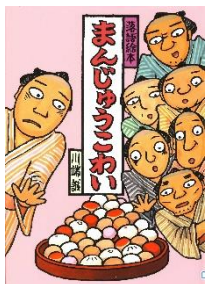
つるばら村でただ一つのパン屋さん「三日月屋」。くるみさんが心を込めて焼き上げるパンは、タンポポのはちみつやツルバラのジャム入り。村じゅうの人たちに食べてもらいたいけれど、訪ねてきたお客さんは……？



ゴリラとわたし

フリーダ・ニルソン/作 岩波書店

9歳のヨナは、突然ゴリラの養子に。町外れの古い工場で廃品を売りつけるゴリラとの生活。一見ぶっきらぼうなゴリラの中にあるやさしさに気がつき仲良く生活するが、そんな二人に試練がおそいます。



落語絵本 まんじゅうこわい

川端 誠/さく クレヨンハウス

昔むかし、わかいもの宴会がありまして、ひとりずつ、こわいものを語り合いました。そこでみんなは、嫌われ者の松つあんをこらしめようと、松つあんのこわいものを聞き出そうとしますが……。



聞かせて、おじいちゃん

横田 明子/著 山田 朗/監修 国土社

孫の自由研究がきっかけとなり、広島原爆について話し始めたおじいちゃん。友人たちと語り部を結成し、戦争にいたる過程やひばく体験について、孫を通して目線で語っていきます。